

令和5年度

PBL教育 協力企業を募集します

群馬大学理工学部は、実践力の高い学生を育成するため、令和4年度から問題解決型授業であるPBL教育（Project/Problem Based Learning）を導入しました。

PBL教育では、大学で講義を受けた学生が、小規模のグループで実際に企業の皆様のところにお伺いして、テーマとなる課題を発見する実習を行うこととしており、令和5年度の実施分について、実習にご協力いただける企業を募集します。

募集にあたり、教育内容や実習方法などについて、2月中旬に説明会を予定していますので、ご関心がある企業の皆様は是非ご連絡くださいますようお願いいたします。

【PBL教育の流れ】

大学内での講義

課題発見のスキルを育成するための講座



企業実習

8月中旬～9月上旬
に1グループあたり
2日間程度実施



成果発表会

学生が大学において、
訪問企業の情報や、実習
で得られた成果等を発表



※企業実習へは、学生を5人程度のグループに分けて派遣します。

※受け入れていただくグループ数は、1グループから歓迎します。

※企業実習の内容は大学から指定しません。企業の実情に合わせて自由に設定してください。

（ただし、怪我の恐れがある業務、個人情報取扱業務、機密性の高い業務等のご遠慮ください）

※今後、内容を一部変更する可能性があります。

想定されるご協力参加企業様のメリットの例

群馬大学との
連携強化

学生に対する
企業情報発信

商品開発や情報発信
に学生の意見活用

SDGs推進や地域貢献
の一環としてPR

企業説明会は2月中旬に予定しています。後日、詳しいご案内を送付しますので、以下の必要事項をご記入のうえ、E-mailまたはFAXにて、下記の連絡先までご連絡をお願いします。（※連絡フォームの指定はありません）

【ご連絡時の必要事項】

①企業名（※業種、事業規模等不問）

②所在地

③ご担当者連絡先（お役職、氏名、電話番号、Eメールアドレス）

★説明会の参加連絡については、準備の都合により、令和5年1月末までをお願いします。

★令和4年度のご協力企業の皆様も、お手数ですが、改めてご連絡いただけますようお願いいたします。

★その他不明なことがありましたら、右記まで遠慮なくお問合せください。

【連絡、お問合せ先】

群馬大学理工学部 中島

TEL：0277-30-1003

FAX：0277-30-1041

E-mail：pbl@jimu.gunma-u.ac.jp

1 実施概要

- 8月中旬～9月上旬の中で2日間、小規模の学生グループが企業を訪問し、実習を行います。
(具体的な受入日程は企業のご要望により調整します)
- 基本的には、5人を1つのグループとしますが、グループあたりの人数は相談に応じます。
- 受入グループ数は、1グループから受け付けますが、2グループ以上のお申出も歓迎します。
(※複数グループ受入の場合は、原則としてグループ毎に別日程になります)
- 企業実習の内容は指定しませんので、企業の実情に合わせて自由に設定してください。
(※怪我の恐れがある業務、個人情報取扱業務、機密性の高い業務等をご遠慮ください)

2 実習の例

※以下に参考例を示します。参考例は特定の企業の実習内容を紹介したものではありません。これ以外にも、企業の実例に合わせて自由に設定してください。不明な場合は、ご相談ください。

(例1) オリエンテーション(業務説明、職場見学)

- ☐ 製品やメニュー、サービスの企画
(現状の課題は何かあり、どういうものが、どうしたら売れるかなどを検討)
- ☐ 商品企画プランを発表
- ☐ 講評

(例2) オリエンテーション(業務説明、職場見学)

- ☐ 検査や組立等の安全な工程の作業体験や、設備等を見学
- ☐ 作業手順や、現場に課題や改善点がなかったか議論
- ☐ 見つけた課題と、その解決プランを発表
- ☐ 講評

(例3) オリエンテーション(業務説明、職場見学)

- ☐ 従業員と一緒に、店舗での販売や営業活動などを体験
- ☐ 学んだこと、良かったこと、課題は何かを議論
- ☐ 見つけた課題と、その解決プランを発表
- ☐ 講評

(例4) オリエンテーション(業務説明、職場見学)

- ☐ 集客力(知名度)を向上するためには、どう改善したらよいかを議論
(ターゲットに向けた効果的なPR方法、SNS等の活用、HP、店舗の改善など)
- ☐ 見つけた課題と、その解決プランを発表
- ☐ 講評

(例5) オリエンテーション(業務説明、職場見学)

- ☐ 各部門から業務の詳細を説明
- ☐ テーマを選択(売上拡大、ムダの削減、女性活躍、SDGs推進、人材採用等)
- ☐ 担当者への聞き取りや現場調査を行うなどし、課題を抽出して、解決プランを発表
- ☐ 講評